

初夢



札幌市医師会
手稲溪仁会病院

青山 剛

10月のとある日、新春随想の原稿依頼が届いた。「新年の年男」からとあり、もう半世紀近くを生きてきたのだと改めて思い知らされる。横浜で生まれ、その後、北へ北へと移ってきた。海外に住んでいたこともあった。1年1年の変化は少ないが、幼少期のころの写真と見比べれば、日本は大きく変わっている。変化は時代が進むほど速くなっており、今後はもっと大きく変わっていくだろう。これまでの経験を基に、新春らしく日本の近未来の夢を見てみることにした。

これからの日本を表す言葉は、「開国」であろうか。日本人の労働者が定着しない介護の領域で、外国人を導入するという話は数年前から出ている。そういえば看護師もそのような話があったかなと思うが、いずれにしても近い将来は少なからぬ人数が入ってくるであろう。また昨年はシリアからの難民によるヨーロッパの混乱が話題となった。いつまでも対岸の火事ではなく、日本への割り当て、そして近くの某国より押し寄せるかもしれない。今後は日本で暮らす外国人が急速に増えるであろう。

彼らは日本語を覚えるであろうが、母国で培われた感覚を変えることは難しい。彼らがminorityでなくなったとき、日本人だけに通用する行動を押し付けることは不可能となる。具体例を挙げれば、「お客様は神様」という日本人独特の行動である。スウェーデン居住時は客としては不便なことが少なくなく、客だからといって必要以上に優遇はされなかった。しかしこれは労働者としての立場で考えればいい。労働者は時に客であるが、客は必ずしも労働者とはならない。労働者に優しい社会であり、そしてどこの国に行ってもそのように感じる。医療でも海外では患者と医療者は対等である。例えば、患者には自身の状態をしっかりプレゼンする義務があり、自身のアレルギー歴、内服薬などを伝えられなければ治療を受けることはできない。対等ということは、つまりそういうことである。

外国人労働者が増えglobal standardを持ち込んでくれば、日本人も海外の標準に合わせざるを得ない。その結果、日本独自の問題は改善の方向へ向かうのではないだろうか。例えば、現在問題となっているモンスタークレーマーの問題である。この原因は客の権利主張より、不当な主張に対して正当な反論を行わなかった側にあるが、彼らは理不尽に謝罪するような感覚はない。その他もろもろの問題も、開国により改善するに違いない。

さて、この初夢は実現するだろうか…。

宇宙論の利用法



札幌市医師会
竹田眼科

竹田 真純

患者さんの治療がうまくいかない時、落ち込むことがままあります。特に手術治療が期待通りにいかない時は苦しいものです。そんな仕事に関する私のストレス発散法は何個かあるのですが、そのうちの一つに「宇宙の本を読む」というのがあります。そういった類の本は天文学や物理学の話が出てきますが、内容がよく分からなくても面白いのです。もともと文系科目が得意で理系はさっぱり振るわない頭でして、私にとって大学入試の時に非常に苦しめられた物理の話を読むということは奇妙なことなのです。

宇宙創成に関する仮説、インフレーション理論やビッグバン、多世界解釈などの話が好きなのですが、楽しく読んでいるとすぐに物理の話が顔を出してきます。アインシュタイン方程式を使った相対論的宇宙論やシュレディンガー方程式を使った量子論的宇宙論という言葉は文章中によく出てくるので、話の流れで何とか読み進めることができるのですが、そこから量子論へと進むことができます（方程式をはっきり理解しているのではなくイメージでなんとなく分かる程度です）。それからさらに場の量子論や素粒子物理学へと話が進んだりするのですが、この辺りの話になってくると付いていくのがきつくなってきます。数式が書いてあっても全く分かりませんし、イメージでの理解も非常にしづらくなってきます。いったんは理解した気になるのですが、頭がダークマターでいっぱいになるのか、すぐに忘れてしまいます。超ヒモ理論やM理論に至っては説明を読んでも呪文か何かのような気がします。10次元とか言われてもイメージが湧きません。それこそ真空が膨大なエネルギーを持つとはにわかには信じられませんが、宇宙が無から生まれたなんて漫画のようで笑っちゃいます。

真面目に考察している物理学者には失礼ですが、科学的に考えているにもかかわらず空想の物語のようところが良いのです。この理解しようと努力をしても全く理解できない感じが、「考えてもしゃーない」という感情を生んでくれて、うまくいかなかった治療もスコッと頭から抜け落ちさせてくれるのです。それと同時に難解に立ち向かう物理学者を自身に投影して勇気をもらいます。こんな風に宇宙の話は私の現実逃避と時に睡眠導入剤になっています。

そういえば私は4まわり目の干支となりますが、宇宙はすでに11億5千万回もまわっているんですね！